

I-2. 中国・四国地方のキク野生種等収集，野菜茶試，1987年

野菜・茶業試験場 花き部 切り花花き第1研究室

天 野 正 之

1. 目的

キク栽培種の育種の歴史は古く、3000年前の中国に始まり、現在世界的に最も重要な花き（観賞作物）の一つとして産業的にも大きな役割を果たしている。その起源には我が国にも自生するキク属野生種数種が関与しているとされているが、近年の多様な育種目標を達成するためには、野生種のもつ生態的及び形態的有用特性の導入が必要とされている。一方、自生地においては、種間交雑による変異種や栽培種との交雑による雑種群等の拡大も進行しつつあり、自生状況も時とともに変化している。従って、キク遺伝資源の収集・評価並びに保存体制の強化が緊急を要する状況に至っている。本研究は、キク属野生種の自生状況を調査するとともに収集し、遺伝資源としての有用性を評価し、その保存・利用を図ることを目的として行った。

2. 経過

1) 収集者 花き部 切り花花き第1研究室 天野正之

2) 実施時期 四国地方については1987年11月16～19日の4日間にわたり、キク属野生種の自生状況調査及び収集を行った。中国地方については、キク栽培種の収集を依頼して行った。

3) 協力機関 高知県牧野植物園
高知県山間農業試験場
高知県園芸試験場
精興園（広島県芦品郡新市町）

3. 収集成果

四国地方におけるキク属野生種の収集の第1日目は、高知県高知市五台山に所在する高知県牧野植物園を訪問し、農水省ジーンバンク事業の説明と協力依頼を行った。同園より快く了承を賜り、キク属の専門家である現地の状況にも極めて詳しい稲垣典年技監の同行を得ることができた。さらに高知県山間農試の協力により、山崎教道主任研究員の同行と公用車の利用が可能となった。当方の収集目的、日程、道路事情等から探索ルートの詳細な打合せを行い、図1に示すように、高知県南東部海岸域のシオギク (*Chrysanthemum shiwogiku* Kitamura)、徳島県那賀川中流域のナカガワノギク (*C. yoshinaganthum* Makino ex Kitamura) 及び高知県南西部海岸域のノジギク (*C. japonense* Nakai) の収集を行うこととなった。それらの収集内容は表1に示す如くであるが、その概要を以下に述べる。

1) シオギク

高知県高知市の東部より土佐湾に注ぐ物部川河口域より室戸岬に至る海岸線沿いに点々と自生し、さらに北上して徳島県蒲生田岬まで自生が延びている。いずれも海岸の急傾斜地や岩場に自生し、内

陸には全く見られない。観光施設や人家に植えられた栽培種との交雑種と思われる群落も見られる。葉形、葉の大きさ、葉の厚さ、葉の毛茸などに種々の変異型が見られ、室戸岬に最も標準型とされる種が多く分布している。人工による海岸線の整備に伴い自生状況の減少が著しい。室戸岬で3点、夫婦岩で2点、野根港で2点、蒲生田岬で4点の計11点の採取を行った。

2) ナカガワノギク

徳島県那賀川の中流域に連続的に分布している。川岸の急傾斜面や岸盤の割れ目に生育し、下流域ではシマカンギクとの天然交雑により形成された分化型が自生している。この分化型の形成された接点とされる鷺敷町で6点の採取を行った。

3) ノジギク

高知県物部川以西の土佐湾沿いから、足摺岬さらに宇和海岸沿いに自生している。葉形、葉の表面の毛茸等に変異がみられ、いずれも断崖か海岸線沿いの岩場に生育している。アシズリノジギク (var. *ashizuriense* kitamura) として分類される葉身が1回中裂し、裏面に毛が多い変種の標準型は、足摺岬の海風が強く吹き当たるような断崖の、採取に危険を伴うような場所に生育している。足摺岬の通称天狗の鼻で3点、叶崎付近の小才角で1点、柏島で2点の計6点の採取を行った。

四国地方の北部並びに中国地方の瀬戸内海沿岸地域もキク属野生種が多く分布しており、キク遺伝資源の探索をすべき重要な地域の一つであるが、日程等の関係で今回は調査及び収集を実施することができなかった。なお同地域の広島県芦品郡新市町に所在するキクの民間育種業者である精興園に保存されているキクの遺伝資源について文書等を通じて依頼し、表1に示す如く、キク栽培種37点の導入を実施した。

4. 収集材料の受渡し計画

今回収集されたキク属野生種及び栽培種のすべては、野菜・茶業試験場 花き部 切り花花き第1研究室において増殖及び特性調査を行う予定であり、所定の手続きを経た後配布に応じる。

5. 所感

自生状態の野生種を探索収集し、当所の目的を達成するには、事前の予備調査や現地等との連携が必要なことは当然であるが、現地において得られる協力が極めて重要である。現地の交通事情、地理的分布状況、生育状況、採取方法、保存方法の具体的な情報については、現地到着後になってはじめて判明することが少なくない。今回の調査・収集における成果も前述した高知県の多くの方々のご協力とご援助がなかったならば、到底達成することができなかったであろう。お世話になった方々ひとりひとりに心から感謝の意を表したい。

国内探索と言えども、より有効な収集を行うためには1週間程度の日程が必要であり、また時期を変えて調査を行うことも重要であり、旅費等も含めて今後の改善が望まれる次第である。

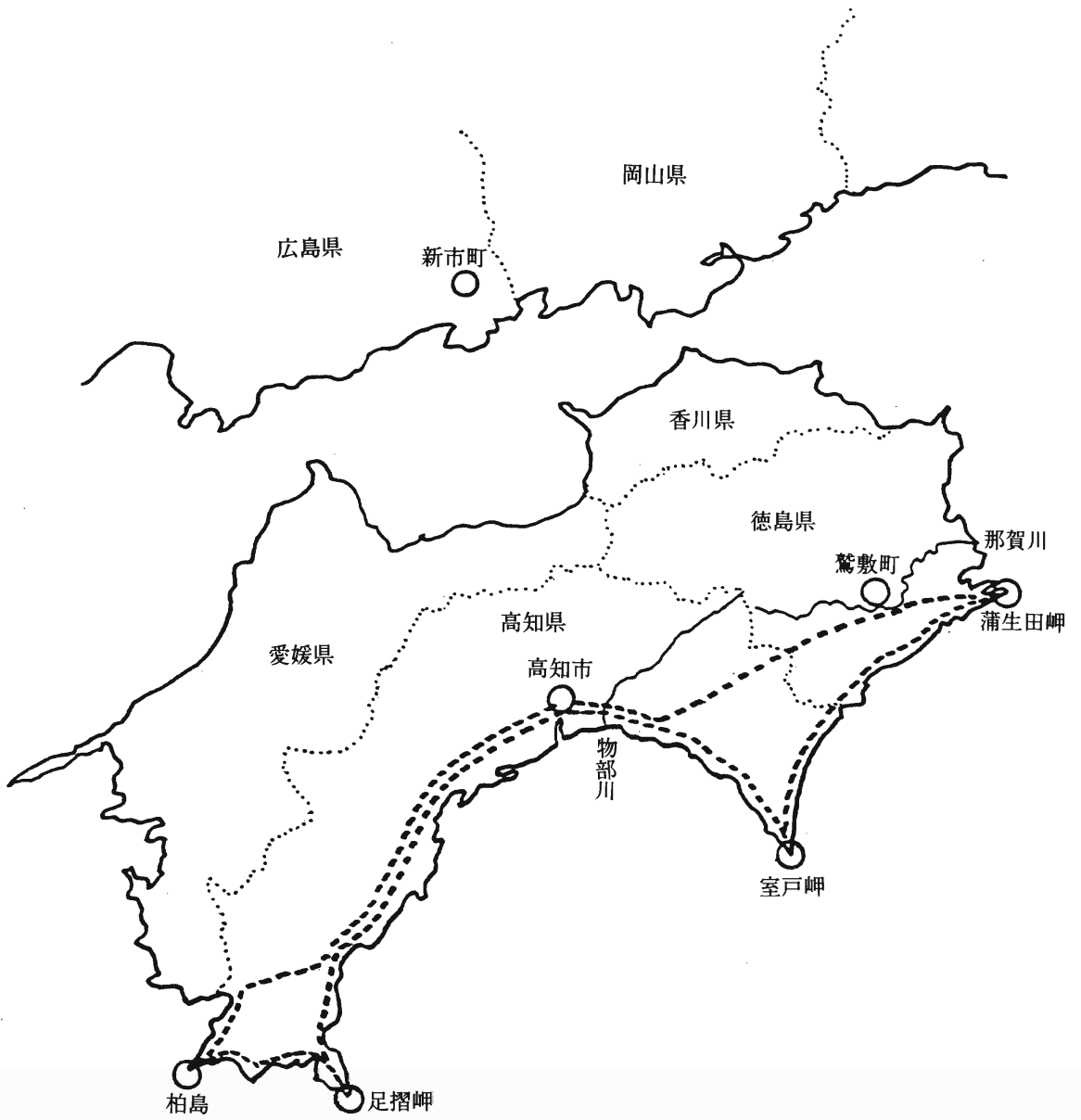


图1. 主な探索収集地点

表1. 収集材料現地記録表(中国四国地方, キク1987)

収集番号	作物名	種属名	現地名	収集月日
1	シオギク	<i>Chrysanthemum shiwogiku</i>	なし	62.11.17
2	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃
4	〃	〃	〃	〃
5	〃	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃	〃
8	〃	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃
10	〃	〃	〃	〃
11	〃	〃	〃	〃
12	ナカガワノギク	<i>C. yoshinaganthum</i>	〃	〃
13	〃	〃	〃	〃
14	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃	〃
16	〃	〃	〃	〃
17	〃	〃	〃	〃
18	ノジギク	<i>C. japonense</i>	〃	11.18
19	〃	〃	〃	〃
20	〃	〃	〃	〃
21	〃	〃	〃	〃
22	〃	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃	〃
24	キク栽培種	<i>C. morifolium</i>	精興の瞳	11.19
25	〃	〃	精興の友	〃
26	〃	〃	金丸富士	〃
27	〃	〃	精興の心	〃
28	〃	〃	秀芳の力	〃
29	〃	〃	寒精雪	〃
30	〃	〃	精興の紅	〃

収 集 地	特 記 事 項	備 考
高知県室戸市室戸岬		
〃	標準型	
〃	〃	
高知県室戸市夫婦岩		
〃		
高知県安芸郡東洋町野根港		
〃		
徳島県阿南市蒲生田岬		灯台下
〃		
〃		
〃		
徳島県那賀郡鷲敷町小仁宇	標準型	
〃		
〃		
〃		
〃	花径大	
〃		
高知県土佐清水市足摺岬	標準型	通称天狗の鼻
〃		
〃		
高知県幡多郡小才角		
高知県幡多郡柏島		
〃		
広島県芦品郡新市町金丸	切り花用品種	精興園より
〃	〃	〃
〃	〃	〃
〃	〃	〃
〃	〃	〃
〃	〃	〃
〃	〃	〃

収集番号	作物名	種属名	現地名	収集月日
31	キク栽培種	<i>C. morifolium</i>	ジルコリンズ	11.19
32	〃	〃	Y. スノードン	〃
33	〃	〃	秀芳の力(黄)	〃
34	〃	〃	新精明の花	〃
35	〃	〃	スノードン	〃
36	〃	〃	インデアナポリスW	〃
37	〃	〃	精興の華	〃
38	〃	〃	精興の鷹	〃
39	〃	〃	竹馬	〃
40	〃	〃	青海波	〃
41	〃	〃	精興の玉	〃
42	〃	〃	精興の轟	〃
43	〃	〃	菊娘	〃
44	〃	〃	精興の峰	〃
45	〃	〃	新金星	〃
46	〃	〃	プリンセス	〃
47	〃	〃	精興の舞	〃
48	〃	〃	鶴の粧	〃
49	〃	〃	精興の銀	〃
50	〃	〃	秀芳の心	〃
51	〃	〃	秀芳の宝	〃
52	〃	〃	金晃	〃
53	〃	〃	金丸黄金	〃
54	〃	〃	精興の寿	〃
55	〃	〃	福美人	〃
56	〃	〃	リバルリィ	〃
57	〃	〃	寒山陽	〃
58	〃	〃	初光の泉(桃)	〃
59	〃	〃	〃 (白)	〃
60	〃	〃	〃 (黄)	〃

2. キク野生種（中国・四国地方，野菜茶試・切り花花き1研，20頁）



自生のノジギク（高知県足摺岬）



岩場に自生するシオギク（高知県室戸岬）

3. オガサワラグワ（小笠原諸島，蚕試，栽培部，42頁）



オガサワラグワの調査および収集（小笠原母島，営農研究センター）



（小笠原母島，石門山針ノ岩付近）